

ツクシアマノリ

Porphyra yamadae Yoshida

ウシケノリ目ウシケノリ科

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

選定理由

今の所、能登外浦の志賀町から輪島市沿岸にかけては見出すことができず、珠洲市沿岸でのみ、しかも狭い範囲での確認しかない。本種の分布の北限でもある。現時点では地域個体群とするのが妥当と考える。

形態

体は初期では円形だが、成長すると縮れてボタンの花のような団塊状になる。体は厚く、硬いためか、珠洲市の狼煙では「はちのす」と呼び、食用とはしない。

国内分布

兵庫県（山陰）、本州太平洋岸中部、九州、南西諸島。

県内分布

珠洲市の狼煙、木の浦、仁江の3箇所ですべて採集されている。

生態

外海に面する高潮線付近の岩上に生育する。散らばることは少なく、本種だけの小さなパッチ状の群落を作る。

生育地の条件

分布から見て水温の高い海域で、波の荒い外海に面する岩礁と考えられる。

生存の危機

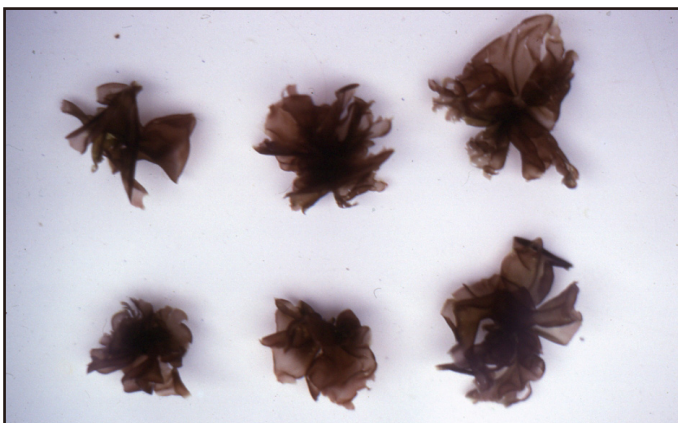
分らないことが多く、言及できない。

特記事項

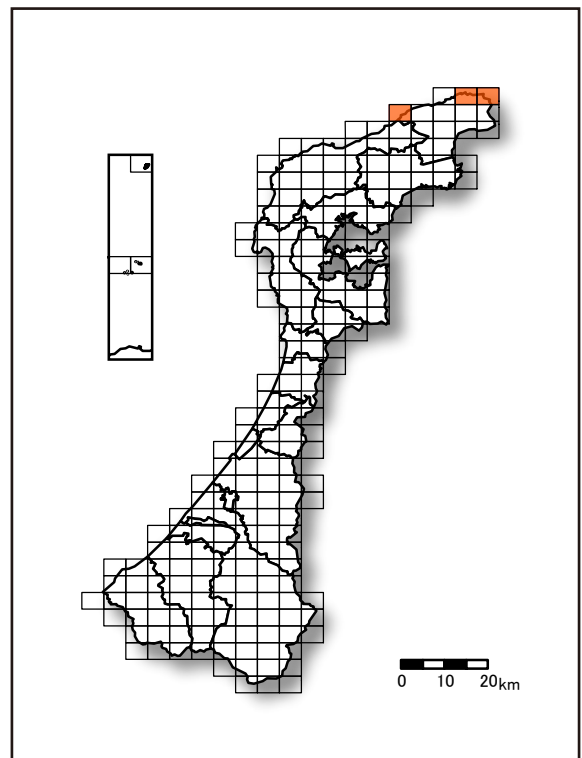
能登のいわのり群落はウップレイノリが主体で、これにオニアマノリとクロノリが混生するが、上記の3箇所では小範囲ながら本種のかたまりも形成される。本種は、山陰地方からの報告は兵庫県のみであるが、九州から能登まで連続分布している可能性もある。

参考文献

佐野 修. 1984. 冬の味覚—岩ノリ—. 能登の自然, 110-111. 石川自然誌研究会, 金沢



写真提供者: 佐野修



県内の分布